自動車用　HIDシステム　取付方法

※ HID装着方法例は一般的な装着例を基に記載しています。車両により当てはまらない場合もございますので予めご了承ください。
※ 作業前の注意事項　：　車両は平坦で安全な場所で車両を安全な状態で作業できるようにして下さい。
車両のマイナス端子を外し作業して下さい。（この際、ラジオ等のメモリーが消失する事があります。予めご了承ください。）

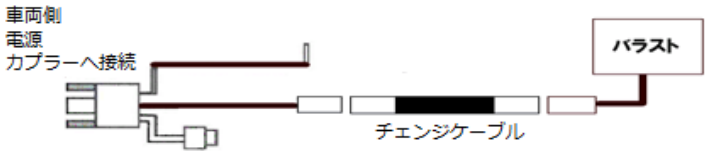
1）現在装着のハロゲンバルブを取り外します。（取り外しは車両の取扱説明書等を参考）

2）仮点灯テストを必ず行ってください。
各、商品の取付配線図を参考にして下さい。
※GT240　H4装着時、スズキ等の車両の場合にHIDの極性と車両側の極性が合わない場合がございます。この場合は下記に記載してあるダイオードの方向、供給電圧の極性変更、ハイロー切換え配線の極性変更等を参考にして下さい。

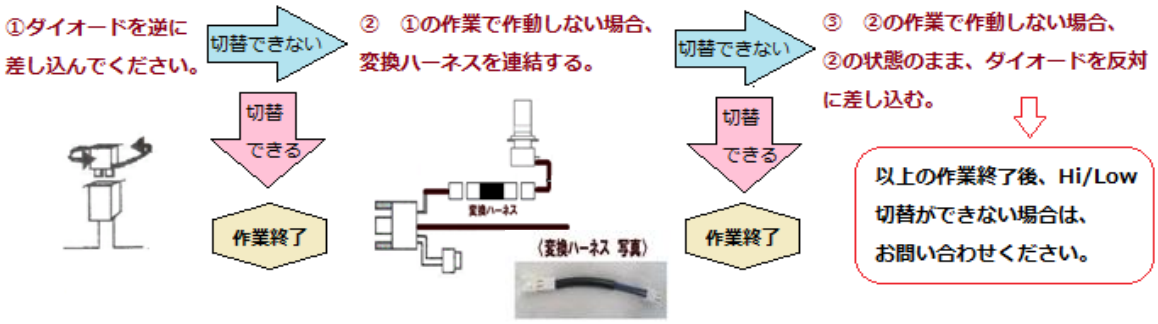
※仮点灯テストの際、ハイビームインジケーターの点灯・消灯
球切れ警告灯などのエラーコードの確認等も併せてお願いします。

«ランプが点灯しない場合

付属のチェンジケーブルを、図のように取り付けてください。

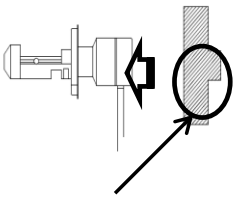


«Hi/Lowの切替ができない場合



3）仮点灯テストで問題がなければ、車両側に各パーツを装着して行きます。

«H4ﾊﾞｰﾅｰ（電球）の装着»



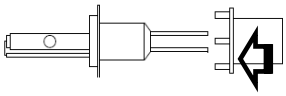
加工の必要に応じて切り取って下さい。
（ハサミ等で防水カバーの硬い部分のみ切り取って下さい。）

前後分割図

防水カバー装着図

H4バーナーの前部、後部が分割出来ます。
①前部をライトケースに固定（固定ピンにて）
②防水カバーを前部と後部の間に差し込みます。
③前部と後部を合体させます。
④バーナーの配線は下側になります。

«シングルタイプ（H１、H7等)の装着»



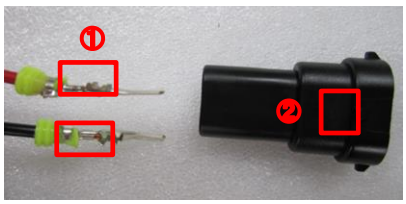
アダプターが必要な場合のハロゲン固定参考写

H１、H7等固定時にHIDバーナーの固定がピンのみで緩い場合があります。
この際はアダプターをゲタにして装着して下さい。（左図参照）

※H3タイプは配線をギボシ等で接続しなおす必要がある場合がございます。
※HB3/4、H11タイプはバルブがロック式の為、純正装着バルブと同様に装着して下さい。
（但し後部に樹脂カバー等が装着されている場合は加工が必要です。）

Ｈ１１防水配線カプラーにカプラーピン挿入のお願い

本製品のＨ１１/Ｈ９のＨＩＤ電源供給の為の配線カプラーに配線ピンは挿入されていません。（極性確認後ピンを挿入して下さい。）
車両側の極性とＨＩＤ側の極性を確認し、カプラーのロック部の向きに注意し、ピンをセットして下さい。



左図①のピンはピンのロック部を外側に向けて挿入し、カチッと音がするまで挿入して下さい。
（ピンは仮挿入し、ラジオペンチ等でピンを引くとしっかり留めやすいです。）

左図②のロック部は車両側カプラーのロック部に向きが合うようにして下さい。

注意：ピン後部の防水ゴムもしっかり挿入して下さい。

４）HIDバラストユニットの固定方法
※HIDユニット（バラスト）はABSユニット、ECUユニットからなるべく遠ざけて固定して下さい。
イグナイター及びバラストは縦、横、斜め、逆さに取付けても問題はありませんが精密部品の集合体の為、ガタツキが無いよう固定して下さい。
精密機器どうしは極力避け離れた場所に固定して下さい。また、バラストと本体は塗装面等にて絶縁されていますが、直接ビス等での固定は避け、間に同梱の両面テープ等を挟みタイラップバンド等で固定して下さい。

５）配線関係はしっかり束ねて下さい。他の配線等と共締め出来る場合は共締めして下さい。
各接続のカプラー部分は防水の為、絶縁テープ等を巻いて保護して下さい。

６）最終の作動確認及び、光軸調整等を行って下さい。

その他のご質問に関しては、ホームページの問合せよりメールでいただくかもしくはお電話、FAX等でお願いいたします。

問合せ先：TEL　092-408-5151
FAX　092-408-5156
平日：AM9:00～17:00まで
土曜日：AM9:00～15:00まで
日・祝日はお休みです。